

ABCC - 放影研の歴史

- 1945年 8月 広島に原子爆弾投下(1945年8月6日)
長崎に原子爆弾投下(1945年8月9日)
9月 日米合同調査団編成



Dr. 都築(Tsuzuki)



Dr. Oughterson



Dr. Warren

1945年 日米合同調査団編成

- 1947年 3月 広島赤十字病院の一部を借り受けて
原爆傷害調査委員会(ABCC)開設



1947年 広島赤十字病院内にABCC開設

- 1948年 1月 厚生省国立予防衛生研究所(予研)が
正式にABCCの研究に参加
ABCCが旧凱旋館(広島市宇品町)に
移転
3月 主要遺伝学調査開始



1948年 旧凱旋館に移転



1948年 家庭訪問による調査

- 1948年 7月 長崎ABCCを長崎医科大学附属病院
(新興善小学校)内に開設
10月 主要小児科研究プログラムを長崎で開始



1948年 小児検診

- 1949年 3月 主要小児科研究プログラムを広島・
呉で開始
7月 比治山で地鎮祭を行い、研究施設の
建設を開始



1949年 建設初期の比治山



1949年 IBM検孔機

- 1949年 8月 ABCC被爆者人口調査開始
- 11月 長崎ABCC、長崎県教育会館へ移転



1949年 長崎ABCC、長崎県教育会館へ移転

- 1950年 1月 白血病調査開始
- 8月 成人医学的調査を広島で開始、その後長崎でも開始
- 10月 国勢調査の附帯調査として全国原爆被爆生存者調査を実施
- 11月 比治山研究施設工事が完了、移転開始

- 1951年 1月 胎内被爆児調査開始



1950年 比治山へ移転

- 1952年 1月 死亡および死因の試行調査開始

- 1953年 12月 広島ABCC施設内に10床の病室設置

- 1955年 9月 剖検に協力された被爆者の第1回追悼法要（広島市寺町徳応寺）



1955年 第1回追悼法要

- 1955年 11月 米国学士院 - 学術会議の特別委員会がABCC研究計画の再検討（固定集団を基盤とする「統合研究計画」を勧告）
- ” 第1回ABCC日本側評議会を開催（東京）

- 1958年 7月 成人健康調査開始
- 8月 国立予防衛生研究所（予研）と寿命調査に関する同意書が交わされる（日米共同研究体制の基盤が確立）



1958年 予研と寿命調査に関する同意書交換

- 1966年 6月 第1回ABCCオープンハウス（長崎）

- 1975年 2月 米国学士院視察団来訪（ABCCに関する科学的再検討特別委員会の報告を作成 [3月26日付]）



1975年 放影研開所式（広島）

- 1975年 4月 広島・長崎で放影研開所式
- 〃 第1回理事会開催（広島）
- 7月 第1回専門評議員会開催（広島）
- 9月 第1回広島地元連絡協議会開催



1975年 第1回広島地元連絡協議会開催

- 1975年 9月 第1回長崎地元連絡協議会開催
- 1977年 1月 遺伝生化学調査を本格的に開始



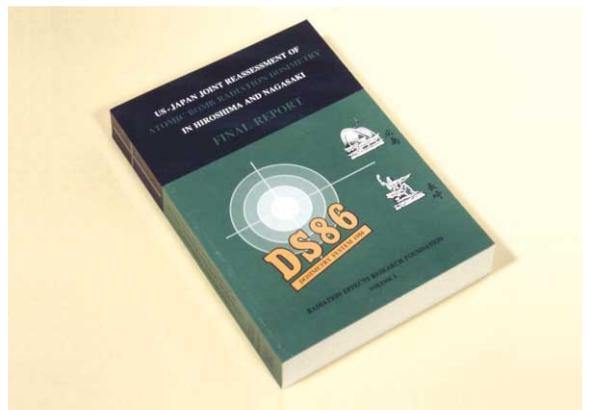
1985年 中華人民共和国工業衛生実験所との研究員交流に関する「覚書」案に合意

- 1979年 6月 世界保健機関（WHO）の研究協力センターに指定される
- 1982年 6月 「原爆による線量の評価検討委員会」発足
- 1983年 2月 第1回日米合同原爆線量再評価ワークショップ開催（長崎）



1983年 第1回日米合同原爆線量再評価ワークショップ

- 1985年 4月 中華人民共和国工業衛生実験所との研究員交流に関する「覚書」案に合意
- 8月 所内組織を大幅に再編成し、臨床研究部、遺伝学部、放射線生物学部、疫学部、統計部などの新組織に移行
- 1987年 7月 広島・長崎における日米合同原爆線量再評価に関する最終報告書（DS86最終報告書）を出版



- 1987年 9月 国際放射線防護委員会（ICRP）総会にDS86最終報告書を提出
- 1990年8-9月 国際原子力機関（IAEA）チェルノブイリ事故健康影響調査団に参加
- 10月 WHOのチェルノブイリ事故科学諮問委員会会議を放影研で開催

1995年 8月 第1回放影研オープンハウス（広島）

1996年 2月 ブルーリボン委員会(卓越した研究者による委員会)開催



1996年 ブルーリボン委員会開催

1996年 6月 ブルーリボン委員会最終報告書完成
(放影研の将来における調査研究のあり方について勧告)

1997年 6月 ABCC - 放影研設立50周年記念シンポジウム(米国ワシントン)
8月 第1回放影研オープンハウス(長崎)
11月 ABCC - 放影研設立50周年記念式典・講演会(広島)

1998年 11月 ABCC - 放影研長崎研究所設立50周年記念式典・講演会(長崎)



1997年 ABCC - 放影研設立50周年記念式典

1999年 5月 被爆二世健康調査について二世協と合意
10月 東海村臨界事故周辺住民の健康調査に参加

2002年 4月 広島大学大学院が放影研に連携講座を設置



1999年 被爆二世健康調査で二世協と合意

2002年 4月 日米合同線量再評価実務研究者会議
(新しい計算方式DS02について合意)



2002年 日米合同線量会議

2003年 3月 新しい線量推定方式DS02最終承認

2005年 4月 第1回被爆二世健康影響調査科学・倫理合同委員会解析部会(広島)
11月 放影研設立30周年記念式典・講演会(広島:11月8日、長崎:11月11日)
12月 広島・長崎における原爆放射線被曝線量の再評価に関する報告書(DS02報告書)を出版(2006年2月 納入・配布)

